

道徳科学習指導案

広島市立〇〇小学校

指導者 〇〇 〇〇

1 日 時 平成30年〇月〇日(〇)～〇月〇日(〇) 〇:〇～〇:〇

2 学年・組 第4学年〇組

3 プログラム名 「いろいろな立場から考えよう」

4 プログラムのねらい

児童が自分と違う立場や感じ方、考え方を理解し、道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を、様々な視点から捉え、多面的・多角的に考えることができる。

5 プログラム設定の理由

(1) プログラムについて

物事を多面的・多角的に考えるためには、多様な感じ方や考え方に接することが大切である。児童が多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話したり協働したりすることで、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、判断し、表現する力を育むのだと考える。

そこで、本プログラムにおいて、発達の段階に応じて二つの概念が互いに矛盾、対立しているという二項対立の教材を取り扱う。また、内容項目の四つの視点と教材の内容から、多面的・多角的な考えの広がりや深まりが感じられるよう順序を考え、学習指導計画を作成した。

(2) 児童の実態

(3) 指導にあたって

導入では、道徳的価値についての問題意識をもたせることや、教材に対する興味関心をもたせることが重要だと考える。そこで、既習の内容や実生活の経験を想起させたり、教材に出てくる場面を実際に体験する活動を取り入れたりする工夫をしたい。

展開では、児童が自分の考え方と友達の考え方を比べたり、異なる感じ方に接したりすることができるようにするため、役割演技を取り入れる。代表の児童による役割演技を行う際は、ねらいとする道徳的価値に関わる問題に応じて演技を中断し、話合いの場を設定する。教師は、助言や発問をしながら、演技をしている児童と、それを見ている児童との話合いを深めるようにする。また、立場を交代した役割演技を取り入れる。中心人物だけでなく他の登場人物を演じさせることで、他の立場になって考える必然性が生まれ、多面的・多角的な考えを引き出すことができると考える。さらに、今回は、ワークシート記入後の役割演技ではなく、即興性を重視した役割演技を行う。一定の条件の下で行う即興的演技によって、児童は相手の言動に対する瞬時の応答が求められ、これまでの体験に基づいた感じ方を自然に表現できると考えるからである。

終末では、ワークシートを活用し、自分が初めに感じたことや友達の考えを整理しながら、自分の考えを深める。児童が多面的・多角的に考えた内容を、教師が個別に捉えて積極的に評価し、児童が学習したことの意義や価値を実感できるようにしたい。

6 プログラム計画（教材の出典「学校図書」）

時	主題名 教材名 内容項目	ねらい	個人内評価としての見取り	評価方法
1	自分でよく考えて 「少しだけなら」 A 節度, 節制	誘惑に負けそうになつたあつしの気持ちを考えることを通して, 他の人から言われるのではなく, 自分自身で考えて節度ある生活をしようとする態度を養う。	(1) 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を, 役割演技を通してさまざまな視点から捉え, 考えようとしている。 【立場を変えた視点】 「入力する立場」と「入力しない立場」の両方の立場から考えようとしている。 【時間軸を移動させた視点】 問題が起こった後の様子を考えようとしている。 【他の道徳的価値の視点】 よく考えた行動には, 他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 善悪の判断, 責任, 規則の尊重, 家族愛等 (2) 自分と違う感じ方, 考え方を理解しようとしている。 ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は, 私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は, 私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも, 理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。 (類似点)	発言 ワークシート 役割演技
2	大切な友達 「ないた赤おに」 B 友情, 信頼	赤おにの涙の理由や, 赤おにのことを思って行動した青おにの気持ちを考えることを通して, 互いに理解し, 信頼し合うために, 相手の気持ちを想像しながら考えたり, 自分の気持ちを様々な形で伝えたりしようとする心情を育てる。	(1) 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を, 役割演技を通してさまざまな視点から捉え, 考えようとしている。 【立場を変えた視点】 赤おにの立場だけでなく, 青おにの立場からも考えようとしている。 (2) 自分と違う感じ方, 考え方を理解しようとしている。 ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は, 私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は, 私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも, 理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。 (類似点)	発言 ワークシート 役割演技
3	本当の友達 「絵葉書と切手」 B 友情, 信頼	友達の過ちを伝えようか迷うひろ子の気持ちを通し	(1) 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を, 役割演技を通してさまざまな視点から捉え, 考えようとしている。	発言 ワークシート 役割演技

		<p>て、互いに信頼し、相手の心情や状況を押し量りながら接していこうとする態度を養う。</p>	<p>【立場を変えた視点】 「伝える立場」と「伝えない立場」の両方の立場から考えようとしている。</p> <p>【時間軸を移動させた視点】 料金不足を伝えた後と、伝えなかった後の様子を考えようとしている。</p> <p>【他の道徳的価値の視点】 友情には、他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 親切、思いやり、正直、誠実、勇気等</p> <p>(2) 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。(類似点) 	
4	<p>さりげない心づかい 「生きた礼ぎ」 B 礼儀</p>	<p>相手を気遣う女王様の行為を通して、時と場に応じた礼儀について考え、誰に対しても真心をもって接する態度を養う。</p>	<p>(1) 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を、役割演技を通してさまざまな視点から捉え、考えようとしている。</p> <p>【立場を変えた視点】 女王様の立場だけでなく、給仕やお客様の立場から考えようとしている。</p> <p>【時間軸を移動させた視点】 問題が起こった後の様子を考えようとしている。</p> <p>【他の道徳的価値の視点】 礼儀には、他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 誠実、親切、思いやり</p> <p>(2) 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。(類似点) 	<p>発言 ワークシート 役割演技</p>
5	<p>みんなが気持ちよく 「雨のバスでいりゆう所で」 C 規則の尊重</p>	<p>よし子のバス停留所での行動について、それぞれの立場から気持ちを考えることを通して、世の中のきま</p>	<p>(1) 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を、役割演技を通してさまざまな視点から捉え、考えようとしている。</p> <p>【立場を変えた視点】 よし子の立場、お母さんの立場、バスを待つ人の立場から考えようとしている。</p> <p>【時間軸を移動させた視点】</p>	<p>発言 ワークシート 役割演技</p>

	<p>りの大切さを知り、進んで守ろうとする心情を育てる。</p>	<p>問題が起こった後の様子を考えようとしている。</p> <p>【他の道徳的価値の視点】 規則の尊重には、他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 善悪の判断、責任、親切、思いやり、礼儀等</p> <p>(2) 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。 <p style="text-align: right;">(類似点)</p>	
--	----------------------------------	---	--

7 個人内評価としての見取り (参考：学習指導要領解説 P. 111)

<p>一方的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか</p>	
<p>道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情をさまざまな視点から捉え、考えようとしている。</p>	<p>自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。</p>

1 主題名 大切な友達 (B 友情, 信頼)

2 教材名 「ないた赤おに」 (学校図書)

3 主題設定の理由

(1) 主題について

友達は、家族以外で特に深い関わりをもつ存在である。それは、共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合い、高め合える存在だからである。学校生活の様々な場面を通して理解し合い、協力しながらよりよい友達関係を築いていくことが大切である。

(2) 児童の実態

(3) 指導にあたって

青おにの行動から、友達の赤おにを大切に思う気持ちに気付くことができる教材である。展開では、赤おにが自分の作った立て札を折る場面や、赤おにに頭を打たれている青おにの場面の動作を模擬しながら、それぞれの心情を考えさせる。中心発問では、赤おにの立場と青おにの立場から心情を考えさせるため、インタビュー形式で立場を交代した役割演技を行う。また、全体の場で代表者が役割演技を行う際は、ねらいとする道徳的価値に関わる場面に応じて演技を中断し、話合いの場を設定しながら、道徳的価値について多面的・多角的に考えさせたい。

4 本時のねらい

赤おにの涙の理由や、赤おにのことを思って行動した青おにの気持ちを考えることを通して、互いに理解し、信頼し合うために、相手の気持ちを想像しながら考えたり、自分の気持ちを様々な形で伝えたりしようとする心情を育てる。

5 個人内評価としての見取り

一方的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか	
道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情をさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 〈役割演技, ワークシート, 発言〉	自分と違う立場や感じ方, 考え方を理解しようとしている。 〈ワークシート, 発言〉
【立場を変えた視点】 赤おにの立場だけでなく、青おにの立場からも考えようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。(類似点)

6 準備物 場面絵, ワークシート, 役割演技用の名札

7 本時の展開

	主な学習活動 ○◎発問 ・ 予想される児童の反応	指導の工夫・評価 ◇支援 ☆評価
導入	1 既習の内容で「友達」について話し合ったことを想起し、問題意識を高める。	◇ 以前、同じ内容項目で学習したときに考えた「友達」について想起させるため、児童の意見をパワーポイントで提示する。
「友達を大切にする」とは、どうすることだろう。		
展開 前段	2 教材を読み、立て札を折った赤おにや頭を打たれた青おにの動作を模擬したり、立場を交代した役割演技をしたりすることを通して、2人の気持ちについて話し合う。 ○ 赤おには、どのような気持ちで自分の立て札を折ったのでしょうか。 ・ 悲しい ・ 悔しい ・ どうすれば、人間と仲良くなれるの ○ 赤おにに頭を打たれている青おには、どのような気持ちだったのでしょうか。 ・ 痛いけど、赤おにのためなら ・ これで、きっと赤おには人間と仲良くなれる ◎ 2人はどのような気持ちだったのでしょうか。 (1) ペアになり、インタビュー形式で互いの理由や気持ちを聞き合う。 「赤おにさん、どうして泣いているの？」 「青おにさん、どうして旅に出たの？」 (2) それぞれの立場を演じて考えたことを、ワークシートに記入する。 (3) 立場を交代して、(1)、(2)をする。 (4) 全体の場で代表者が役割演技を行う。 泣いている赤おに ・ どうして、何も言わずに旅に出たの。(怒り) ・ ぼくたち、友達じゃなかったの。(疑問) ・ 青おにさんがいなくなって、悲しいよ。 ・ 青おにさんがいなくなって、寂しいよ。 ・ 自分のことばかり考えていた。(後悔) ・ ぼくは、ひどいことをしてしまったよ。 ・ 青おにさん、ごめんね。(反省) ・ 頭の傷は治ったかな。大丈夫かな。(心配) ・ 人間と友達になれたよ。 ・ 大切に思ってくれてありがとう。(感謝)	◇ 教材の登場人物に自我関与して考えさせるため、教師が読み聞かせる。 ◇ 教材中の看板の文字が、カタカナ表記のため、合理的配慮の視点からひらがなに変換したものを提示する。 ◇ 赤おにや青おにの心情を考えさせるため、中心発問に迫る場面を、全員で動作化する。 ◇ 自分と違う感じ方、考え方を理解できるようにするため、ねらいとする道徳的価値に関わる場面に応じて演技を中断し、話し合いの場を設定する。また、演じている児童や、それを見ている児童に助言したり発問したりする。 ◇ それぞれの立場から多面的・多角的に考えたことが分かるようにするため、児童の発言を対比的にまとめて板書する。 ☆ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を、役割演技を通してさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 <役割演技, ワークシート, 発言> ☆ 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。 <ワークシート, 発言>

	<p>旅に出た青おに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして泣いているの。(疑問) ・ 突然いなくなっておめんね。(反省) ・ ぼくがいと、赤おにさんに迷惑かけると思ったから。 ・ 本当は、悲しい。そばにいたいよ。 ・ 人間と仲良く過ごしてほしいよ。 ・ 心配してくれて、ありがとう。(感謝) ・ 遠くにいるけど、友達だよ。 ・ 赤おにさんのことを、ずっと大切に思っているから。 	<p>◇ 本時のねらいとする道徳的価値の理解に迫るため、補助発問を用意する。 「なぜですか。」 「2人の共通点は、何ですか。」</p>
<p>後 段</p>	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○ あなただったら、2人にどのような言葉をかけますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤おにさんは、大切に思ってくれる友達がいてよかったね。私だったら、青おにさんに手紙を書くよ。 ・ 青おにさんは、赤おにさんのために作戦を考えて、すごいね。でも、赤おにさんに会えないのは辛いね。 	<p>◇ 自分の生活を振り返ることができるようにするため、補助発問を用意する。 「自分の生活の中で、友達を大切に思って行動したことはありますか。」 「そのとき、どのような気持ちでしたか。」</p>
<p>終 末</p>	<p>4 本時の学習について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 「友達を大切にすると、は、どういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを考えること ・ 相手の性格を理解すること ・ 相手のことを信じること ・ 「ごめんね」や、「ありがとう」が言えること 	<p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p>

8 板書計画

第2回 「ないた赤おに」

友達を大切にすると、はどうすることだろう。

赤おにの
場面絵

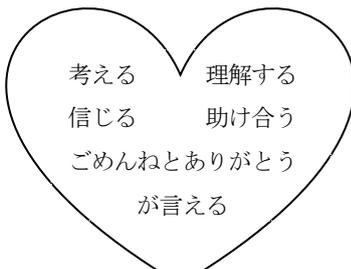
悲しい 悔しい
人間と仲良く

泣いている赤おに

どうして何も言わずに
旅に出たの？
友達じゃなかったの？
悲しい 寂しい
自分のことばかり
ひどいことをしてしまった
ごめんね
頭の傷は治ったかな？
大丈夫？
大切に思ってくれてありがとう

青おにの
はり紙

考える 理解する
信じる 助け合う
ごめんねとありがとう
が言える



青おにの
場面絵

青おにの 痛い
赤おにのために

旅に出た青おに

どうして泣いているの？
突然いなくなっておめんね
ぼくがいと、赤おにさんに迷惑
悲しい 寂しい
本当は、そばにいたい
人間と仲良く過ごしてほしい
心配してくれて、ありがとう
遠くにいるけど、友達だよ
赤おにさんのことをずっと
大切に思っているから

1 主題名 本当の友達 (B 友情, 信頼)

2 教材名 「絵葉書と切手」 (学校図書)

3 主題設定の理由

(1) 主題について

真の友情には、友達の過ちに対して、自分にとっても相手にとっても気持ちのよい行動をとることが大切である。相手に対する伝え方や、相手に指摘されたことを受け入れる素直さを実感できるようにしたい。

(2) 児童の実態

(3) 指導にあたって

絵葉書の料金不足について正子に知らせようと思ったひろ子に共感し、本当の友達について考えることができる教材である。導入では、絵葉書をもらったひろ子を代表者が演じ、心から喜んでいる表情や言葉を引き出したい。展開では、ひろ子の心の葛藤を自我関与させ、料金不足を伝える立場と、伝えない立場を交代して役割演技を行う。さらに、「自分がひろ子だったら、どうするか。」と発問し、判断理由について話し合うことを通して、相手の心情や状況を推し量りながら接していこうとする態度を養いたい。

4 本時のねらい

友達の過ちを伝えようか迷うひろ子の気持ちを通して、互いに信頼し、相手の心情や状況を推し量りながら接していこうとする態度を養う。

5 個人内評価としての見取り

一方的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか	
道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情をさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 〈役割演技, ワークシート, 発言〉	自分と違う立場や感じ方, 考え方を理解しようとしている。 〈ワークシート, 発言〉
<p>【立場を変えた視点】 「伝える立場」と「伝えない立場」の両方の立場から考えようとしている。</p> <p>【時間軸を移動させた視点】 料金不足を伝えた後と、伝えなかった後の様子を考えようとしている。</p> <p>【他の道徳的価値の視点】 友情には、他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 親切, 思いやり, 正直, 誠実, 勇気等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。(類似点)

6 準備物 場面絵, ワークシート, 役割演技用の名札, 絵葉書

7 本時の展開

	主な学習活動 ○◎発問 ・ 予想される児童の反応	指導の工夫・評価 ◇支援 ☆評価
導入	1 既習の内容で「友達」について学習したことを想起し、教材への導入を行う。 ○ 絵葉書をもらったひろ子は、どのような気持ちでしょうか。 ・ 嬉しい ・ きれいな絵葉書	◇ 教材に興味・関心をもたせるため、代表者が絵葉書をもらったひろ子を演じ、心から喜んでいる表情や言葉を引き出させる。
「本当の友達」って、何だろう。		
展開 前段	2 教材を読み、料金不足を伝える立場と伝えない立場を交代した役割演技を通して、迷いながらも料金不足を伝えようとするひろ子の気持ちについて話し合う。 ◎ 迷っているひろ子は、どのような気持ちだったのでしょうか。 (1) ペアになり、インタビュー形式で互いの理由や気持ちを聞き合う。 「どうして、料金不足を伝えるの？」 「どうして、料金不足を伝えないの？」 (2) それぞれの立場を演じて考えたことを、ワークシートに記入する。 (3) 立場を交代して、(1)、(2)をする。 (4) 全体場で代表者が役割演技を行う。 伝える ・ 正子さんのためにならないと思う。 ・ 正子さんが知ったとき、傷つくかもしれない。 ・ 同じ間違いをしてしまうかもしれない。 ・ 友達なら、間違いを伝えたほうがよいと思う。 ・ 友達だから、正直に伝えよう。 ・ 正子さんも分かってくれるだろう。 ・ 自分が後悔するから。 伝えない ・ 自分が嫌われるかもしれない。 ・ せっかく書いてくれたのに、嫌な思いをさせてしまうかもしれない。 ・ 遠くにいるから、余計に気まずい。 ○ 料金不足を伝えようと思ったひろ子は、どのような気持ちだったのでしょうか。 ・ 本当の友達だからこそ、教えてあげよう。 ・ 正子さんは、分かってくれるはず。 ・ 間違いを繰り返さないためにも、伝えよう。 ・ 正子さんのために、心を込めて書こう。	◇ 教材の登場人物に自我関与して考えさせるため、教師が読み聞かせる。 ◇ 自分と違う感じ方、考え方を理解できるようにするため、ねらいとする道徳的価値に関わる場面に応じて演技を中断し、話し合いの場を設定する。また、演じている児童や、それを見ている児童に助言したり発問したりする。 ◇ それぞれの立場から多面的・多角的に考えたことが分かるようにするため、児童の発言を対比的にまとめて板書する。 ☆ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を、役割演技を通してさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 <役割演技, ワークシート, 発言> ☆ 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。 <ワークシート, 発言> ◇ 本時のねらいとする道徳的価値の理解に迫るため、補助発問を用意する。 「ひろ子は、なぜ、すっきりしたのですか。」

<p>後 段</p>	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○ あなたがひろ子だったら、どうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分も相手もすっきりするためには、伝える。 相手を傷つけないから、伝えない。 	<p>◇ 自分の生活を振り返ることができるようにするため、補助発問を用意する。</p> <p>「あなたは、どのようなことに気を付けて伝えますか。」</p> <p>「それぞれの共通点は、何ですか。」</p> <p>「自分の生活の中で、似たような経験はありますか。」</p> <p>「そのとき、どのような気持ちでしたか。」</p>
<p>終 末</p>	<p>4 本時の学習について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 「本当の友達」って、何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の間違いも、伝えられる関係であること 自分も友達も信じ合えること 友達を思いやる心や優しさがあること 	<p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p>

8 板書計画

第3回 「絵葉書と切手」

本当の友達とは、何だろう。

1年生のころから
仲良し

転校した
正子

嬉しい
きれいな絵葉書

絵葉書

迷っている
ひろ子の場面絵

伝えない

自分が嫌われるかも
せっかく書いてくれたのに、
嫌な思いをさせてしまうかも
遠くにいるから、余計に気まずい

伝える

正子さんのためにならない
正さんが知ったとき、傷つくかもしれない
同じ間違いをしてしまうかもしれない
間違いを伝えたほうがよいと思う
友達だから、正直に伝えよう
正さんも分かってくれるだろう
自分が後悔するから

友達の間違いも伝えられる
関係であること
自分も友達も信じ合えること
友達を思いやる心や
優しさがあること

1 主題名 さりげない心づかい (B 礼儀)

2 教材名 「生きた礼ぎ」 (学校図書)

3 主題設定の理由

(1) 主題について

礼儀とは、心が礼の形になって表れることであり、礼儀正しい行為をすることによって、自分も相手も気持ちよく過ごせるようになる。人との関わりにおいて、どのような振る舞いが好ましいのかを考えさせたい。

(2) 児童の実態

(3) 指導にあたって

女王様のお客様に対する一連の行動に込められた心遣いから、礼儀について考えることができる教材である。導入では、教材の内容を理解させるため、フィンガーボウルを紹介する。展開では、教材文を二つに分けて読み聞かせる。前半部分では、お客様が間違っ水を飲む場面で、女王様と給仕の気持ちを考えさせるため、立場を交代した役割演技を行う。後半部分では、女王様の「水を飲む」という道徳的行為を通して考えたことを話し合わせ、時と場に応じて接する態度を養いたい。

4 本時のねらい

相手を気遣う女王様の行為を通して、時と場に応じた礼儀について考え、誰に対しても真心をもって接する態度を養う。

5 個人内評価としての見取り

一方的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか	
道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情をさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 〈役割演技, ワークシート, 発言〉	自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。 〈ワークシート, 発言〉
<p>【立場を変えた視点】 女王様の立場だけでなく、給仕の立場からも考えようとしている。</p> <p>【時間軸を移動させた視点】 問題が起こった後の様子を考えようとしている。</p> <p>【他の道徳的価値の視点】 礼儀には、他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 誠実, 親切, 思いやり等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。(類似点)

6 準備物 場面絵, ワークシート, 役割演技用の名札, フィンガーボウル

7 本時の展開

	主な学習活動 ○◎発問 ・ 予想される児童の反応	指導の工夫・評価 ◇支援 ☆評価
導入	1 「礼儀」について日常生活から想起した後、教材名の「生きた」という言葉の意味を考え、問題意識をもつ。 ○ 「礼儀正しい人」とは、どのような人ですか。 ・ 丁寧な言葉遣いで話している人 ・ おじぎをしてあいさつしている人	◇ 教材名から道徳的な問題意識をもたせるため、日常生活を想起し、教材名と比較する。 ◇ 教材の内容を理解させるため、フィンガーボウルの使い方を紹介する。
「生きた礼儀」とは、どういうことだろう。		
展開 前段	2 教材の前半部分 (P79) を読み、給仕の立場と、女王様の立場を交代した役割演技を通して、2人の気持ちについて話し合う。 ○ 女王様は、緊張しているお客様を見て、どのようなことを思ったのでしょうか。 ・ 大丈夫かな。 ・ 緊張をほぐしてあげたい。 ◎ お客様が間違ってフィンガーボウルの水を飲んだとき、2人はどのような気持ちだったのでしょうか。 (1) ペアになり、互いの気持ちを聞き合う。 「女王様、どうしましょう。」 「教えてあげたほうが…。」 「でも…。」 (2) それぞれの立場を演じて考えたことを、ワークシートに記入する。 (3) 立場を交代して、(1)、(2)をする。 (4) 全体の場で代表者が役割演技を行う。 女王様 ・ 使い方が間違っている。 ・ どうしよう。 ・ 給仕が持ってきたときに、私が使い方を説明すればよかった。 ・ お客様に申し訳ない。 ・ どうすれば、お客様に恥ずかしい思いをさせないですむかしら。 ・ みんなが楽しい気分で帰ってほしい。 給仕 ・ 正しいマナーではない。 ・ 私が使い方を説明すればよかった。 ・ 早く教えてあげないと、お客様に恥ずかしい思いをさせてしまうだろう。 ・ 女王様が困ってしまうだろう。 ・ 他のお客様が驚くだろう。 ・ 他のお客様も間違えるかもしれない。	◇ 教材の登場人物に自我関与して考えさせるため、教師が読み聞かせる。 ◇ 自分と違う感じ方、考え方を理解できるようにするため、ねらいとする道徳的価値に関わる場面に応じて演技を中断し、話合いの場を設定する。また、演じている児童や、それを見ている児童に助言したり発問したりする。 ◇ それぞれの立場から多面的・多角的に考えたことが分かるようにするため、児童の発言を対比的にまとめて板書する。 ☆ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を、役割演技を通してさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 <役割演技、ワークシート、発言> ☆ 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。 <ワークシート、発言>

後 段	<p>3 教材の後半部分を読み、女王様の道徳的行為から考えたことについて話し合う。</p> <p>○ 女王様が1番大切にしていたことは、何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の気持ちを考えること ・ 相手を思いやること ・ 相手を気づかうこと ・ 心をこめて振る舞うこと 	<p>◇ 自分の振る舞いや行動を振り返ることができるようにするため、普段の生活場面を例に挙げながら、礼儀について見つめ直すよう児童に問いかける。</p>
終 末	<p>4 本時の学習について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 「生きた礼ぎ」とは、どういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作法などの形だけではなく、その場の状況に応じた振る舞いができること。 ・ 相手の気持ちを考え、思いやる心がある行動のこと。 ・ 挨拶や振る舞いに真心がこもっていること。 	<p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p>

8 板書計画

第4回 「生きた礼ぎ」	「生きた礼ぎ」とは、どういう事だろう	
<p>女王様</p> <p>どうしよう 使い方を説明すればよかった お客様に申し訳ない どうしたら、お客様に恥ずかしい思いをさせないですむかしら みんなが楽しい気分で帰ってほしい</p>	<p>「あっ、それは——。」</p> <p>お客様が間違っ て 水を飲む場面絵</p>	<p>給仕</p> <p>間違い 正しいマナーではない 使い方を説明すればよかった 早く教えてあげないと お客様に恥ずかしい思いをさせる 女王様が困ってしまう 他のお客様が驚く 間違えるかも</p>
<p>【1番大切にしていたこと】</p> <p>相手の気持ちを考えること 相手を思いやること 相手を気づかうこと 心をこめて振る舞うこと</p>	<p>女王様が 水を飲む場面絵</p>	

道徳科学習指導案

広島市立〇〇小学校

指導者 〇〇 〇〇

1 主題名 みんなが気持ちよく (C 規則の尊重)

2 教材名 「雨のバスでいりゅう所で」 (学校図書)

3 主題設定の理由

(1) 主題について

個人や集団が、安全にかつ安心して生活できるようにするために、必要な約束やきまりがあることを理解させたい。特に、人と人とが仲間をつくり、よりよい人間関係を形成する上では、自分の思いのままに行動するのではなく、集団や社会のために自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのか、自他の権利を尊重し、進んで約束やきまりを守ろうとする態度を養いたい。

(2) 児童の実態

(3) 指導にあたって

よし子の行動や考え方は、児童が自分自身のこととして共感しやすい教材である。導入では、順番に並ぶ場面を実生活の経験を想起させながら、道徳的価値の方向付けを行う。展開では、立場を交代した役割演技を通して、よし子の立場だけでなく、お母さんの立場、バスを待つ人の立場からも考えさせ、見えないきまりがあることの意義や大切さを考えさせたい。

4 本時のねらい

よし子のバス停留所での行動について、それぞれの立場から気持ちを考えることを通して、世の中のきまりの大切さを知り、進んで守ろうとする心情を育てる。

5 個人内評価としての見取り

一方的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか	
道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情をさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 〈役割演技, ワークシート, 発言〉	自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。 〈ワークシート, 発言〉
<p>【立場を変えた視点】 よし子の立場、お母さんの立場、バスを待つ人の立場から考えようとしている。</p> <p>【時間軸を移動させた視点】 問題が起こった後の様子を考えようとしている。</p> <p>【他の道徳的価値の視点】 規則の尊重には、他の道徳的価値が関連していることを考えようとしている。 善悪の判断、責任、親切、思いやり、礼儀等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんな考え方があるのか。(他者理解) ・ この考え方は、私と同じだな。(共通点) ・ この考え方は、私と違うな。(相違点) ・ 同じ意見でも、理由が違うな。(相違点) ・ AさんとBさんの意見は似ているな。(類似点)

6 準備物 場面絵, ワークシート, 役割演技用の名札, 公共施設等の写真

7 本時の展開

	主な学習活動 ○◎発問 ・ 予想される児童の反応	指導の工夫・評価 ◇支援 ☆評価
導入	1 日常生活の中にある「きまり」を想起し、学習の問題意識をもつ。 ○ みなさんの生活の中には、どのような場所に「きまり」がありますか。 ・ 学校 ・ 公共施設 ・ 病院 ・ 店	◇ 「見えないきまり」があることに気付かせるため、公共施設等の看板や店で順番に並んでいる場面の写真を提示する。
「見えないきまり」とは、どういうことだろう。		
展開 前段	2 教材を読み、よし子の立場とお母さんの立場を交代した役割演技を通して、見えないきまりの大切さについて話し合う。 ○ お母さんに肩をぐいと引かれたよし子さんは、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・ どうして引っぱるの。(いら立ち) ・ 早く乗らないと、席がなくなるよ。(焦り) ・ 荷物も雨で濡れてしまうのに。 ◎ バスに乗った2人は、どのような気持ちだったでしょう。 (1) ペアになり、インタビュー形式で互いの理由や気持ちを聞き合う。 「お母さん、どうして黙っているの？」 (2) それぞれの立場を演じて考えたことを、ワークシートに記入する。 (3) 立場を交代して、(1)、(2)をする。 (4) 全体の場で代表者が役割演技を行う。 よし子 ・ どうして何も言ってくれないの。 ・ 怒っているのかな。 ・ 並んでバスを待っている人がいたのに、無視した。 ・ 自分の気持ちを優先してしまった。 ・ 自分のことしか考えていなかった。 お母さん ・ 自分の娘が割り込もうとして、恥ずかしい。 ・ 他の人に見られて、情けない。 ・ きまりを守ってほしい。 ・ 後から来たのに、先に行くことはずるいと思う。 ・ 周りの人に迷惑をかけてしまう。 ・ バスを待っている人の気持ちを分かかってほしい。	◇ 教材の登場人物に自我関与して考えさせるため、教師が読み聞かせる。 ◇ 自分と違う感じ方、考え方を理解できるようにするため、ねらいとする道徳的価値に関わる場面に応じて演技を中断し、話し合いの場を設定する。また、演じている児童や、それを見ている児童に助言したり発問したりする。 ◇ それぞれの立場から多面的・多角的に考えたことが分かるようにするため、児童の発言を対比的にまとめて板書する。 ◇ 本時のねらいとする道徳的価値の理解に迫るため、補助発問を用意する。 「バスを待っている人は、どのような気持ちでしょうか。」 「よし子と、バスを待つ人の共通点や違いは何ですか。」

		<p>☆ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠や心情を、役割演技を通してさまざまな視点から捉え、考えようとしている。 〈役割演技、ワークシート、発言〉</p> <p>☆ 自分と違う感じ方、考え方を理解しようとしている。 〈ワークシート、発言〉</p>
後段	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <p>○ あなたは「見えないきまり」について、守っていることはありますか。ほかにも、よし子と同じような経験をしたことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスや電車の中では、静かに過ごしている。 ・ エレベーターに乗るとき、出る人を優先している。 ・ 店内を走ってはいけないと思っていたけど、楽しそうなゲームを見つけて、つい走ってしまった。 	<p>◇ 自分の生活を振り返ることができるようにするため、普段の生活場面を例にしたり、児童が学校生活の場面で、きまりを守っている様子等を紹介したりする。</p> <p>◇ 自分の生活を振り返ることができるようにするため、補助発問を用意する。「なぜ、守ろうと思ったのですか。」</p>
終末	<p>4 本時の学習について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 「見えないきまり」とは、どういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが気持ちよく生活できるようにするために、一人一人が守るきまりのこと ・ みんなが困らないために、相手のことを考えて行動すること ・ 自分もみんなも安心して過ごすために、当たり前を守っていききたいきまりのこと 	<p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p>

8 板書計画

